

平成28年度匝瑳市健康づくり推進協議会議事録

平成28年6月29日(水)

13時30分から14時15分まで

八日市場公民館視聴覚室

[出席委員] 11人

江波戸 久元、江波戸 寛、井元 浩平（代理 大日方 洋一）、八角 勝義、
林 明敏、鈴木 日出男、鎌形 春枝、鎌形 廣行、大海原 祥榮、磯部 範夫、
二村 好美

[欠席委員] 2人

鶴野 航三、菊地 紀夫

[事務局]

高橋課長、畔蒜副主幹、大木主任保健師、大川主任保健師、石毛主任主事

1 開会 事務局

2 会長あいさつ

3 議事 議長 江波戸会長

(1) 匝瑳市健康増進計画について

(2) その他

議長 会議の成立を宣言

(1) 「匝瑳市健康増進計画について」を事務局から説明

【質疑・意見】

〈委員〉

アンケートの回収率はどれくらい見込んでいるか。

〈事務局〉

郵送で行うアンケートについては、3割から4割と見込んでいます。

〈委員〉

3割から4割で全体の意見として反映できるのか。

〈事務局〉

統計的には信頼度95%が基準となっており、95%の基準を得るには1,000サンプルが必要となります。3,000人に調査し、回収が1000人位となり、基準に合います。

〈委員〉

なるべく多く回収できるよう努力していただきたい。

〈事務局〉

わかりました。

〈委員〉

20歳以上3,000人となっているが、若い人は健康に関心が薄いと思う。アンケートの年齢層を40歳以上を多くすれば、回収率が上ったり、健康に不安を持っている人の声を聞こえてくるのではないか。

〈事務局〉

20歳以上の3,000人を無作為で抽出するつもりです。事務局でも年齢層毎に分けて3,000人抽出するという案もありました。若い人の回収率が低いのではないかという心配もありましたが、人口構成によるアンケートの結果が反映できなくなる懸念がありました。

〈委員〉

完全な無作為ですが、ひとり暮らしの老人はどうするのか。回答ができないのではないか。

〈事務局〉

配慮したいと思います。

〈委員〉

区長会を通して、回収してもらってはどうか。

〈事務局〉

郵送方式で行うつもりです。

〈委員〉

年齢に偏りは出ないのか。

〈事務局〉

無作為抽出なので、偏ることはないと思います。若い人が少なく、高齢者が多いという市の人口構成どおりの抽出ができます。

〈委員〉

20歳以上だと、学生等、住所は置いてあるが、いない人がいるのではないかと。そうすると回収率が下がるのではないかと。

〈委員〉

3,000人抽出の具体的な方法を示してもらえないか。例えば地区別で抽出するのか。

〈事務局〉

地区毎ではなく、無作為抽出で行います。

〈委員〉

抽出方法ですが、人為的にやるのか、除く人を除いてコンピュータで抽出するのか。

〈事務局〉

例えば、中央地区が全体の人口の10%だったら、3,000人の10%の300人が抽出されます。

〈委員〉

地区毎の割合で抽出されるのか。

〈事務局〉

今は例として、説明しました。人口38,000人に対して、3,000人抽出され、年齢別とかではなく、アトランダムに抽出されます。

〈委員〉

地区に偏りはないのか。

〈事務局〉

可能性は低いと思います。年齢構成に応じて抽出されると思います。

〈委員〉

アンケートの最後に母子の健康についての設問があるが、無作為抽出だと、子育てに関しては限られた年齢層になるので、健診等に来られた方にアンケートしたほうがいいのではないかと。

〈事務局〉

母子保健計画も含むということで、アンケートの中に入れました。高齢者には関係が薄いことから、抽出できるデータが少なくなる懸念はありました。母子の健診でも、問診票に合わせて、調査票で調査しているものがあるので、その結果も計画に反映させたいと思います。

〈委員〉

資料1ですが、健康増進計画の概要とありますが、中身がアンケートに関するものになっている。2の調査内容がアンケートの順序と違っているので揃えたほうがいいのではないかと。

〈事務局〉

修正します。

〈委員〉

抽出方法だが、機械的にソフトで抽出するのですか。

〈事務局〉

電算の担当に依頼して、抽出してもらおうが、抽出方法は把握しておりません。

〈委員〉

偏ったりしないのか。

〈委員〉

20歳以上の3,000人を抽出してくださいと依頼するなら、年代毎の抽出も可能なのではないかと。

〈事務局〉

年代毎の抽出もできますが、無作為抽出というのは、大きな匝瑳市があり、3,000人でできた小さな匝瑳市が結果として出てくる。最も信頼が高い抽出方法となる。今懸念されている地区・年代の偏りは、1%以下の数字となる。地区毎や年代毎に並べたリストから、7人おきとかに数字を振っていき抽出するのが、通常のやり方なので、きれいに抽出されるはずで。

この後、調査を行った結果、年代・地区で偏ることは多々ありますが、報告書の段階で、人口構成と回答結果、双方を提示します。大きな差は出ないと思います。

〈委員〉

過去にもアンケートを行っているはずなので、そのデータをフィードバックしているはずなので、事務局で確認して、各委員の意見が網羅されているか、

確認したほうがいいのではないかと。

〈事務局〉

確認して、その結果を報告させていただきます。

〈委員〉

3,000人なので、区長会を通して回収してもらったらどうか。回収率が上がるのではないかと。

〈事務局〉

先ほど郵送方式と説明しましたが、ご意見として承ります。

〈議長〉

区長会としてはどうですか。

〈委員〉

市から依頼があり、やる場合でも、プライバシーの問題、区長さんすべてがそういうことに明るい人ではないので、滞った場合、誰の責任だということもあり、過去のアンケートでも打診はあったと思うが、できていないということは何か問題があると思います。決して協力しないということではありませんが。

〈委員〉

私も回収の依頼には賛成です。保健推進員会も市全体で230人推進員がいるので、そちらにも依頼してはどうか。

〈委員〉

区長会・保健推進員会という話がありますが、書類的に回収というと、回収率は悪いのではないかと、行って回収してくれば、近所の誰々さんが来てくれたから返さなければとなる。ただ、郵送で回収となると率が上がらないのではないかと。

〈委員〉

その辺の連携だと思うが、7月末が回収期限で、守秘義務もあるが、未回収の所に協力してもらったらどうか。

〈事務局〉

意見として承ります。

訪問調査について、提案していただきましたが、非常に言われていることは、ごもっともです。回収率も2・3割上がります。ただし、今回懸念されるこ

とが、プライバシーの関係で個人情報を市のほうから、またさらにお願いすると、万が一紛失が発生した場合、大変なことであり、体制が確立させるには、時間が足りない。現場で動いてもらうには、交通費等が発生する。それと調査期間が延びてしまう。会えないお宅に何度も訪問してもらうと負担が増える。なお、未回収の方、回答してくれた方に対して、お礼状兼回答依頼を送付する予定です。

〈議長〉

回収は難しいでしょうが、回収率を上げたほうが、より多くの意見が反映されるので、その方向で考えてもらうということではよろしいでしょうか。

なお、保健推進員にお願いすると金銭的にかかるのですか。

〈事務局〉

今のところ、想定していませんが、金銭的な予算の裏付けはありませんので、お願いするとなると、ボランティアでお願いするしかありません。

〈委員〉

本調査に関するPR、広報等予定していますか。

〈事務局〉

ホームページ、広報等行う予定です。

〈委員〉

アンケート問14 アにもありますが、胃がん発生のもとであるピロリ菌の除菌の市の助成はありますか。

〈事務局〉

助成はありません。

〈委員〉

より効果があると思う。できれば来年から助成をお願いしたい。

〈事務局〉

ご意見として承ります。

〈議長〉

学校検診でもピロリ菌の検査をやろうという方向で意見が出ています。

(2) その他

【質疑・意見】

〈委員〉

次回の会議の開催通知をできれば早くいただきたい。

〈事務局〉

早めに通知します。

4 閉会 事務局